6年「大地のつくりと変化」(3・4 / 14) 本時
 自分で考えた堆積実験をもとに、地層のでき方を確かめようとする。

過程	学 習 活 動	教師の支援(T 1・T 2)	資 料 等
	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="338 304 2002 360" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> わたしたちの住んでいる大地は、どのようにしてできたのだろうか。 </div> <p>2. 予想と確かめる方法を確認する。</p> <p>3. 個々の計画をもとに実験で確かめる。</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p> <p>5. 学習のふりかえる。</p>	<p>T 1 前時の学習を簡単にふりかえる。</p> <p>T 1 個々の地層の堆積実験の方法や材料に不足や無理がないか再確認する。 T 1 実験結果を予想させるなどして、大地(地層)がどのようにしてできたのかを確かめるための実験であることを確認する。 「風や火山」など、水による堆積以外の予想については、後日確かめることを確認しておく。 T 2 必要に応じて個別にアドバイスをする。</p> <p>T 1 材料や実験方法など、不都合なところは実験をしながらでも改善していくよう示唆する。 T 1 身近な素材を工夫活用するよう支援する。 T 1 堆積するまでに時間がかかったりして戸惑う児童が見られる場合は場合は、その間に実験装置や手順を書く等の手立てを示す。 T 1 早く堆積したものについては、「さらに層を増やすためにはどうすればよいか」など思考を深めるための問いかけをするなどして活動がより充実したものになるよう支援する。 T 1 実験によって一人一人が予想を検証できたか確認するとともに検証できるよう支援する。 T 2 上記のT 1の支援に協力し、個々の活動が充実できるよう支援する。 T 2 説明のための実験素材等を準備しておく。</p> <p>T 1 お互いの実験結果を発表し合うことにより、地層のでき方について思考を深めさせる。 T 2 実際の地層映像を見せ、実験結果と対比させることにより、検証実験の意義に気づかせたり、路頭観察への意欲をもたせるようにする。</p> <div data-bbox="931 1235 1626 1350" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 大地のでき方に興味をもち、実験方法や結果の記録を工夫しながら、進んで実験に取り組むことができたか。 </div> <p>T 1 本時の学習をふりかえるために、学習カードに感想を記入させる。 T 1 実験で予想を確かめることができたかどうかについて確認させる。</p>	<p>実験に活用できるような素材の準備(T 1・T 2)</p> <p>地層の映像資料(T 2)</p>